

連載 技術経営

第4回 ソフトウェアロボットが人の仕事を代行 対象業務を見極め実践し、業務改革

研究員(工学博士)

山中隆敏

働き方改革の高まりや労働力不足の深刻さに対する解決策として、人がパソコンを用いて作業している定型的な業務を、ソフトウェアのロボットが代行するRPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）が注目を集めている。RPAの機能や事例から、RPA導入による効果について紹介する。

RPAの基本機能

RPAの基本機能は3つある。1つ目は、ソフトウェアロボットを開発する機能である。パソコン上で動作するアプリケーションの起動、フォーム入力、ボタンクリック、テキストのコピー等様々な画面操作を記録し再現する。記録した画面操作は、スクリプトとして自動生成され、繰り返しや条件分岐処理をエディタで編集できる。そのため、自動化したい業務要件に応えられるロボットを開発できる。

2つ目は、ロボット実行機能である。遠隔からの手動起動、起動する日時を設定するスケジュール起動、ファイルが作成された等特定の条件を元に起動するトリガー起動の、多彩なバリエーションで実行できる。

3つ目は、ロボット管理機能である。ロボットの実行状況・履歴状況を確認できる。正常に動作完了したロボット、起動中のロボット、失敗したロボットを一覧表示できるダッシュボード表示機能がある。

RPAのビジネス事例

RPAは、経理業務の請求書処理や売掛金の仕訳けなど、画面を開いてデータ操作をする作業。大量のデータを扱う作業。決められた一連の操作を繰り返し実行する作業に適している。

例えば、パソコンを販売する量販店が、配送業者に設置依頼をロボットに代行させる作業。エクセルで作成した設置一覧表とワードの指示依頼書の二つを開く。設置一覧表側から氏名、住所、設置日時をコピーする。指示依頼書の所定欄に貼付けする。地図サイトにアクセスし住所を入力する。表示された地図画像をコピーし、指示依頼書に貼付ける。画面を閉じて完成させる。配送業者に指示依頼書を送付し、設置依頼をロボットが代行する作業事例である。

RPA導入による効果

RPA活用でユーザー自身が業務の再配置や改善に取り組めるようになる。ある企業では、年40万時間の作業削減で収益に寄与した事例がある。RPAはシステム開発投資に見合わない

連載 技術経営

**第4回 ソフトウェアロボットが人の仕事を代行
対象業務を見極め実践し、業務改革**

かった業務が対象になる。自動化する業務が広がることで、知的な業務への人財シフト、効率化と生産性向上が進むことで収益が向上し経営改革に繋がる。

—以上—